

式辞

暖かな春の訪れを感じる今日この佳き日、保護者の皆様のご臨席のもと、四期生二十七名の新入生を迎えられたことを、本校教職員並びに在校生一同大変嬉しく思います。

保護者の皆様、お子様の本校へのご入学、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。

本校は、旧能勢高等学校から大阪府立豊中高校能勢分校へと改編して丸三年が経過しました。目指したい人材像を「グローバル人材」と定め、本校一分校間で連携をしながら教育活動に取り組んでおります。グローバルとローカルの両方のセンスを持ち合わせ、広い視野で考えながら地域の課題を設定・解決できる人材、国際社会や地域の魅力化・活性化を担える人材、すなわち「グローバル人材」を生徒・教職員がともに目指して参ります。只今入学を許可しました二十七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ようこそ、豊中高校能勢分校へ。昨今の新型コロナウイルス感染症に関連する世の中の変動に翻弄され、不

安な気持ちを持ち続けながら入学者選抜に臨んでいたことと察します。そのような状況下で本当に良かったと思う点が一点あります。それは、本日二十七名の皆さん全員がこの場で入学式を迎えられたことです。今日という記念すべき日を起点に、十五歳から十八歳までの三年間、約千日をとともに過ごせることを大変嬉しく思っています。

次に、新入生の皆さんには、本校が目標とする「グローバル人材」を目指す上で重要なキーワードを一点お伝えします。それは「失敗」です。失敗と聞くと皆さんの中には「残念」「うまくいかなかったんだ」「落ち込んでしまう」などネガティブな印象を持つ人も多いのではないのでしょうか。しかし、高校生となった皆さんは失敗に対する認識を新たにしてみてください。それは、「失敗は成功に至るプロセスである」ということです。つまり、「ある事象の結果だけを捉えて成功/失敗と判断してしまう」のではなく、「失敗は学びの機会であり、今後の成長につなげる糧なのだ」ということを強く認識してください。ぜひ皆さんには、これからの高校生活の中で、失敗を恐れずに数多くの新しいことに挑戦し、自らの将来を切り拓いてほしいと願っています。

失敗経験の重要性は、皆さんよく知っているユニクロ・GUでおなじみの、株式会社ファーストリテイリングの柳井正社長も提唱しています。「一勝九敗」。家業を世界的大企業に導いた偉大な経営者でさえ、「十回新しいことを始めれば九回は失敗する」「失敗に学ぶことが何より大切である」と言っています。

また、Google、Instagram など名立たるグローバル企業を多く輩出しているアメリカ西海岸の地域であるシリコンバレーでは、「Fail First(まず失敗せよ)」の文化が根付いています。失敗は学びの宝庫であり、膨大な数の挑戦・失敗サイクルなくして革新的な事業は創出されない、ということが明白な事実として認識されています。

なぜここまで失敗の重要性を伝えているかというと、皆さんはこれから正解のない課題に対して向き合い、壁を乗り越えなければならない機会に多く直面するからです。「正解は誰かが教えてくれる」「マニュアルを当てはめれば解決できる」ではありません。仲間と活動を共にしながら、皆さん自身が試行錯誤を繰り返し、皆さん自身で解を導き出すことが求められます。このプロ

セスこそ「グローバル人材」になるために必要な経験だと捉えています。

とはいえ、失敗は怖くて逃げたいもの。できれば避けたいと思う気持ちは皆さん同じかもしれません。だからこそ、我々教職員、地域、関係各所が皆さんの挑戦を全力でサポートします。皆さん同士も、「失敗は恥ではなく、挑戦に失敗はつきものなんだ」ということを認識し、お互いの気持ちに寄り添いながら、新たな挑戦を楽しんでくれることを期待しています。

また、保護者の皆様、大切に育ててこられたお子様を本日から本校の生徒としてお預かりいたします。現代は VUCA の時代と呼ばれ、我々の想像をはるかに超えるスピードで社会が変化し、予測できない状態が続いています。「学歴で人生が保障される」「大企業に入れば安泰」「資格を取れば安心」など従来の常識が通用しない社会がすでに始まっています。私たち教職員は、変化の激しい社会においても、お子様が自ら課題を捉え、理想に向かってトライし続けられるよう全力で支援してまいります。つきましては保護者の皆様におかれましても、学業、部活

動、学校行事等の取り組みや、PTA 活動、地域活動へのご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、四期生全員がたくさんの仲間と協働し、志を持って夢や目標に挑戦するような高校生活を送られることを祈念し、また学校と地域が一体となってしっかりと皆さんを支えていくことを約束し、学校長の式辞といたします。

令和三年四月七日

大阪府立豊中高等学校能勢分校 准校長 菅原 亮